松本平タウン情報
本　　社／松本市大手4-10-16
編集広告室／〒399-8711 松本市宮田2-10 信毎ビル内
編集・制作……☎(0263)28-9080
広　　告……☎(0263)28-9490
(共通) FAX(0263)29-0744
www.townjoho.co.jp

松本平 タウン情報

4/7（木曜日）
配達 7、8日
（週3回/火・木・土発行）

長野県議会議員一般選挙

投票日は4月10日(日)です
仕事やレジャーで投票日に行けない方は、期日前投票をお忘れなく。

道化師 木曽に集結

6月30日―7月3日 日本初のキャンプ開催

クラウン（道化師）文化の発信地に―。木曽文化公園（木曽町日義）で6月30日―7月3日、日本初の「クラウンキャンプ木曽」が開かれる。同キャンプは米国で30年近く続き、多い時で世界各国から300人以上のクラウンが集結した一大イベント。今年から同公園に移して引き継ぐことになり、関係者は「米国での雰囲気を再現し、根付かせたい」と意気込む。（浜秋彦）

主催するのはクラウン劇団OPEN SESAME（オープンセサミ、東京都品川区）。同劇団代表のロネさんとジージさんは2003年のモンテカルロ国際クラウンフェスティバルで銀賞を受賞するなど、日本を代表するクラウンだ。

二人は1997年、米国ウィスコンシン大学で開いたキャンプに初参加。そこでのパフォーマンスがキャンプ幹部の目に留まり、翌年から同キャンプに講師として招かれ、毎年、クラウンの精神や技術などを教えてきた。

しかし、キャンプの創始者リチャード・スノーバーグ博士の高齢化や場所の確保が困難といった事情から、09年で終了（10年はシンガポールで暫定開催）。ロネさんらのもとには日本から参加していた人からの継続を求める声が届いていた。

こうした中、昨年12月に木曽文化公園主査の小谷清さんが、11年度事業でオープンセサミに公演を依頼。二人が公園の施設などを調べたところ、自然に囲まれ、舞台、宿泊施設も整っていることから、「こんな理想的な場所はない」とキャンプ開催を逆依頼。両者の願いが一致した。

小谷さんは「4年前に二人のパフォーマンスを初めて見て、ずっと忘れられなかった。駄目もとで頼んだのがこんな形で実現するとは」と驚いている。

今回のキャンプは3泊4日の合宿型で、これまでに築き上げた教育プログラムなどを踏襲する。参加者はプロ、アマ問わず、未経験者も可能で、30―40人を見込んでいる。

7月1日には上田小学校（木曽町）でのパフォーマンスも計画している。

ロネさんとジージさんは「まずは木曽の人たちに『クラウンとは何か』を知ってほしい。初回は小規模でやるが、ゆくゆくは期間を増やすなどして、いろんな面で、地元に還元できれば」と話す。

参加問い合わせは☎03・3762・1535

米国で開かれた最後のクラウンキャンプ（09年）

「米国での雰囲気再現を」

ロネさん（左）とジージさん

クラウンキャンプ 1980年、ウィスコンシン大学のクラウンの授業の延長としてスノーバーグ博士が地域の人に開放。それが話題となり、同地域以外からも参加可能な1週間の集中プログラムを求める声が高まり、合宿型のキャンプが誕生。以後、同大学で毎年1回開き、参加者は年々増加。プロを目指す他、看護師など自分の仕事に生かす目的で参加する人もいた。

ロネ&ジージ 1990年、クラウンカレッジ（東京）で出会い、OPEN SESAMEを結成。2002年、クラウンズインターナショナル（英国）で最優秀賞、04年、ポートランドコメディフェスティバル（米国）で優勝。日本唯一の養成学校を主宰し、川崎市アートセンターでの市民参加型の舞台づくりプロジェクト「Be A Clown」の講師も務める。

JFL 山雅24日開幕戦

サッカーの日本フットボールリーグ（JFL）は5日、東日本大震災の影響で中止した3、4月の前期1―6節の代替開催日を含む、これまでに決まった今季の新日程を発表した。リーグは23、24日の前期7節からスタートし、松本山雅FCは24日午後2時から、松本市のアルウィンでブラウブリッツ秋田と対戦する。

代替開催は、8月の平日や11月の祝日、12月1、2週の週末を中心に組まれた。対戦チーム間で日程や会場の調整がつかなかった試合を含め、未定分は7月5日までに発表される。全日程終了は12月11日の見込み。

山雅FCの代替6試合は、FC琉球（8月31日・アルウィン）、横河武蔵野FC（11月3日・同）、ツエーゲン金沢（11月23日・金沢市）との3戦が日時、会場とも決定。アウエーのMIOびわこ草津とホンダロックSC戦、ホームのソニー仙台FC戦は未定。

山雅FCの代替開催を除く28試合は日時、会場とも当初発表された通りで変更はない。震災で大きな被害を受けた宮城県を賀城市に拠点を置くソニー仙台FCは、前期7―17節は参加しない。

義援金を受け付け「タウン情報 まごころ寄金」にご協力を

【詳細は8面に】

展望台

屋田 孝之

未曽有の大震災と巨大津波災害。そして原発事故。時間の経過とともにやり場のない不安、怒り、恐れが渦巻き、広がっている。

それでも、被災地では多くの自治体、海外から派遣された、さまざまなスキルを持った専門家たちによって復旧活動が進んでいる。そんな姿をテレビでみながら、『ナチ略奪美術品を救え～特別部隊「モニュメンツ・メン」の戦争』（白水社）という本を思い出した。戦争から、人類の遺産を守る「モニュメンツ・メン」の気概と苦悩を描いたドキュメンタリーである。

第2次世界大戦末期、ノルマンディー上陸作戦（1944年）と同時に、「モニュメンツ・メン